

対詠 ぐきげんいかが？ PART 96 〈2025-26〉

N U O
小野澤繁雄
梅津純子
布宮慈子

校庭の見ゆる部屋なり二階からわれら時々子を眺めて	10月29日	N
雉をみたみたみたという人多し若松町は畑地なれども	11月1日	O
橋梁の景色は遠く見るものか絶景半分只見線車中	11月2日	U
五、六軒先の家が燃えてゐて火柱立つをキッチンから見つ	11月3日	N
牛小屋の牛も焼けたがのこるよう小さい頃の火事の思い出	11月11日	O
家ひとつ焼け落ちる様見届けき慄きと昂ぶりのなか里人寄りて	11月16日	U
里山が紅葉するころ庭の木の冬支度せむところ忙しも	11月19日	N

ちりとりに箒みることみちに出て柿の葉片している女性がみゆ	11月21日	O
水の無き側溝埋むる柿落ち葉明日こそ上げむ雪が近づく	11月22日	U
落ち葉ふるスタジアムでの最終戦 南選手はけふ引退す	11月29日	N
こんなにも囲われなれて中学校声の昇るやテニスコートに	12月2日	O
クリスマス寒波といふほど降らなくてわづかに積もる雪囲ひの上に	12月29日	N

2026年

こどもいてついてきている犬もいる初の稽古かテコンドー道場	1月5日	O
雨降つても雪が降つても散歩する田中さんちのフクといふ犬	1月11日	N
水路にも橋その下に鯉がいて犬のようにも呼んでみたこと	1月15日	O
山形の米沢あたりで有名な「鯉のうま煮」をこのごろ食さず	1月19日	N